

令和4年度京王観光カップ
第40回九州中学校バレーボール選抜優勝大会（大分大会）における
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（改訂版）

大分県バレーボール協会
大分県バレーボール協会中学部

1 大会期日

3月25日（土）・26日（日）・27日（月）

2 大会参加について

- (1) 大会参加チームは、このガイドラインに則して大会に参加し、感染症対策事項各会場のルールを遵守し、率先して協力すること。また、これを遵守できない場合は、参加の取り消しや途中退場等を求めることがある。
- (2) 各チームにおいて、会参加についての保護者の同意を得ること。参加同意書は顧問が保管すること。
- (3) 大会当日、参加チームの監督は、健康チェックシートを受付に提出し、チームの健康状態を報告すること。報告対象者は、チームスタッフ、選手、チーム関係者の入館者全員分とする。また、2日目以降も各会場で受付に提出すること。
- (4) チームにコロナウイルス感染者・濃厚接触者が判明した場合の対応については、以下の状況で判断する。

【 選手・チームスタッフ個人への対応 】

- (1) 大会前に感染が判明した場合および濃厚接触者と認定された場合、行動制限期間内であれば、その期間における出場は認めない。
- (2) 大会当日に発熱等の体調不良がみられる場合、その日の大会参加は認めない。試合の観戦や応援も認めない。チームは保護者に連絡を取り医療機関を受診させるなど、適切な処置をとること。
- (3) 大会期間中に感染や濃厚接触が確認された場合、(1)を適用する。
※ 該当チームは各県専門委員長と大会本部（衛藤浩志 TEL090-7397-9943）に確実に連絡すること。
大会本部は、チーム責任者や学校管理職と協議した上で、対応の決定を行う。
- (4) 大会後に感染が判明した場合、該当チームは各県専門委員長に確実に連絡すること。各県専門委員長は、大会本部に報告すること。大会本部は対戦相手にも情報を共有すること。

【 チームへの対応 】

- (1) 臨時休校が大会期間中にかかる場合は、原則として参加不可とする。ただし、学校の一部が休校の場合（学級・学年閉鎖等）は、大会への参加は校長の判断に従うこと。（特に、感染拡大防止の観点で判断すること。）
 - (2) インフルエンザやその他学校保健安全法等に定められた感染症については、施行規則に則った出席停止期間を適用する。
- 3 応援・観戦について
- (1) 無観客とする。チーム関係者（ベンチ外スタッフ、保護者など）の入館は認めるが、人数や入館できる日を制限する。
 - (2) チームのフロアへの立ち入りは、監督、コーチ、マネージャー、選手14名以内の計17名以内とする。ただし、25日の公式練習については、登録選手（18名以内）の立ち入りを認める。

- (3) 26日および27日については(削除)大会期間中、チーム関係者の入館を認める。ただし、健康チェックシートに記載された者に限る。入館できる人数は30名以内(エントリー外の登録選手、未就学児は人数に含めない)とする。日毎の変更は認めるが、同一日途中での変更は認めない。
- (4)監督、コーチ、マネージャー、選手、チーム関係者入場者は、チームでIDカードを準備し、首から下げる。チーム名、氏名、スタッフ・選手・チーム関係者の分類が記載されていれば様式は問わない。
- (5) 応援方法は拍手のみとし、ペットボトル、鳴り物等は禁止とする。(アップゾーンでも同様とする。)

(削除)

- (5) マスクを着用していれば、声を出しての応援を認める。ペットボトル、鳴り物等は使用できる。
- (6) 3日間とも体育館内および体育館外周辺でのチームの場所取りはできない。チームに割り当てられた観客席のみ使用することができる。昼食については、体育館外にチームで場所を決めて短時間で食事をするとは構わない。(大会当日、天候により、昼食場所の確保が困難と判断した場合、大会本部より、昼食や待機場所についての連絡を行うこともある。)
- ※ 保護者が体育館周辺でシートを敷いてお茶を飲んだりすることはご遠慮ください。リモートでの試合中継を集団で観戦することもお控えください。
- (7) 予選リーグで敗退したチームの27日(月)の試合観戦を認める。必ずIDカードを着用すること。

4 全体注意事項

○出場チーム・選手に関する事項

- (1) 試合中以外はマスクの着用を確実にすること。フェイスシールド、マスクガードのみは原則不可とする。ただし、やむを得ない場合は事前に大会本部に申し出ること。(削除)
- (1) マスクの着用は任意とするが、着用することが望ましい。
- (2) スタッフ・選手は、試合中にベンチで適切な距離を確保し、マスクを着用すること。(削除) ベンチに配置する椅子は、間隔を空けて5脚置くこととする。
- (3) 試合前にハドル(円陣)を組む際に肩を組むことやチーム全員で合唱すること、ハイタッチをすること等は控えるように指導する。(試合中に自然発生的にハイタッチをする場合を除く。)(削除)
- (4) アップゾーンの選手はマスクを着用すること。(削除)
- (5) コートオフィシャル(点示、ラインジャッジ)を行う際は、必ずマスクを着用する。(削除)
- (6) 体育館の空きコートでのストレッチや、更衣室を使用する際には、マスクを着用する。(削除)
(勝ち残りチームの待機時もマスクを着用すること。)(削除)
- (3) 体育館の空きコートの使用については、ボールを使用しないウォーミングアップのみとする。
- (4) 入館した後、フロア内の密を避けるために、登録選手14名以上の生徒に対して移動を促すなど、競技役員でフロア内の人数調整を行うことがある。
- (5) チームは消毒液(アルコール等)を準備し、チェンジコート後の椅子、更衣室等の使用場所を消毒すること。
- (6) 試合後の相手チームへの挨拶(ベンチや応援席)は行わない。自チームの応援席への挨拶は、その日の最後のゲームの時のみとする。試合後は、速やかにコートを開ける。
- (7) 試合に敗退したチームが次試合のコートオフィシャルをする際に、部員数が少なく、コートオフィシャルが不足する場合は、試合を行うチームのベンチに入らない生徒、または、試合のない他のチームにコートオフィシャルをお願いすることがある。感染症対策の観点から、保護者等によるコートオフィシャルの代理は認めない。
- (8) 試合のビデオ撮影は、チームに割り当てられた観客席からのみ許可する。

(9)棄権チームが出た場合、大会本部は試合順の繰り上げ等を検討し、変更する際は、該当チームのパート全チームに連絡をする。

※ 棄権チームの大会結果への掲載は、「棄権」とだけ記載し、点数は記録しない。

○大会役員等に関する事項

(1)感染拡大防止に係る各事項が遵守されているかを定期的に巡回、確認すること。

(2)受付には手指消毒剤、体温計（非接触・接触）を設置すること。

(3)発熱や咳、咽頭炎などの症状がある人は入館しないよう呼び掛けること。

(4)大会役員もマスク着用を徹底すること。(削除)

(4)更衣室、役員控え室、待機スペースなどは以下に配慮し準備すること。

ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）

イ ゆとりをもたせることが厳しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。

ウ 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーのノブやテーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。

エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

(5)大会役員は必要最小限の人数をすること。

(6)会場で使用する机、椅子等は使用前、使用後に消毒すること。

(7)競技場内で使用する机、椅子、チームベンチ、ネット、アンテナ、サイドバンド、ポール、ポールカバー、ケーブル、補助ロープ、レフリースタンド、フェンス、ワーニングカード、ボール、ブザー、ベンチブザー、ラインジャッジフラッグ、筆記具、スコアカウンター等は試合ごとに消毒すること。

(8)各会場で感染拡大防止に必要な物品を十分に準備すること。

5 その他

(1)開会式は実施せず各チーム試合会場へ集合とする。表彰については、男女上位各2チームによる閉会式を実施し、3位についてはコート表彰とする。

(2)日程については、九州バレーボール連盟ホームページで確認すること。

(3)会場によっては、感染拡大防止のため館内飲食が禁止されている場合があるので、それに従うこと。

※本ガイドラインの詳細は、新型コロナウイルス感染状況に合わせて変わることがあるので、事前に九州バレーボール連盟HPの確認を必ず行うようにする。

コロナ感染拡大防止のため、各チームで準備するもの

- 1 大会参加同意書（HPからダウンロード）
- 2 健康チェックシート（HPからダウンロード）
- 3 非接触型体温計（準備できる場合でよい）
- 4 接触型体温計（念のために必ず準備してください）
- 5 消毒液
- 6 マスク
- 7 携帯型IDカード（先生は、学校で使用しているもので大丈夫です）

※ スタッフ・登録選手・チーム関係者の全員が必要となります。